

駒込地区仮校舎の基本設計案について

1. 整備概要

所在地	豊島区駒込6-2-16（旧駒込フラット）
階高・構造	地上4階建・重量鉄骨造
敷地面積	3,604.33㎡（測量実測値）
建築面積	約1,600㎡
延床面積	約5,600㎡
校庭面積	約540㎡（人工芝舗装部分面積）
整備諸室	普通教室等（20教室）、特別教室（※）、体育館、給食室、学習情報センター、職員室、保健室 など ※小学校利用時は1階の技術室を子どもスキップに改修予定
その他設備	エレベーター、太陽光発電、雨水利用設備、非常用発電、校舎内に断水時使用可能な災害用トイレなどを整備
（仮称） さくら記念館	仮校舎の1階部分に整備予定 ※セキュリティ確保のため、学校の動線と分離する

2. 基本設計について

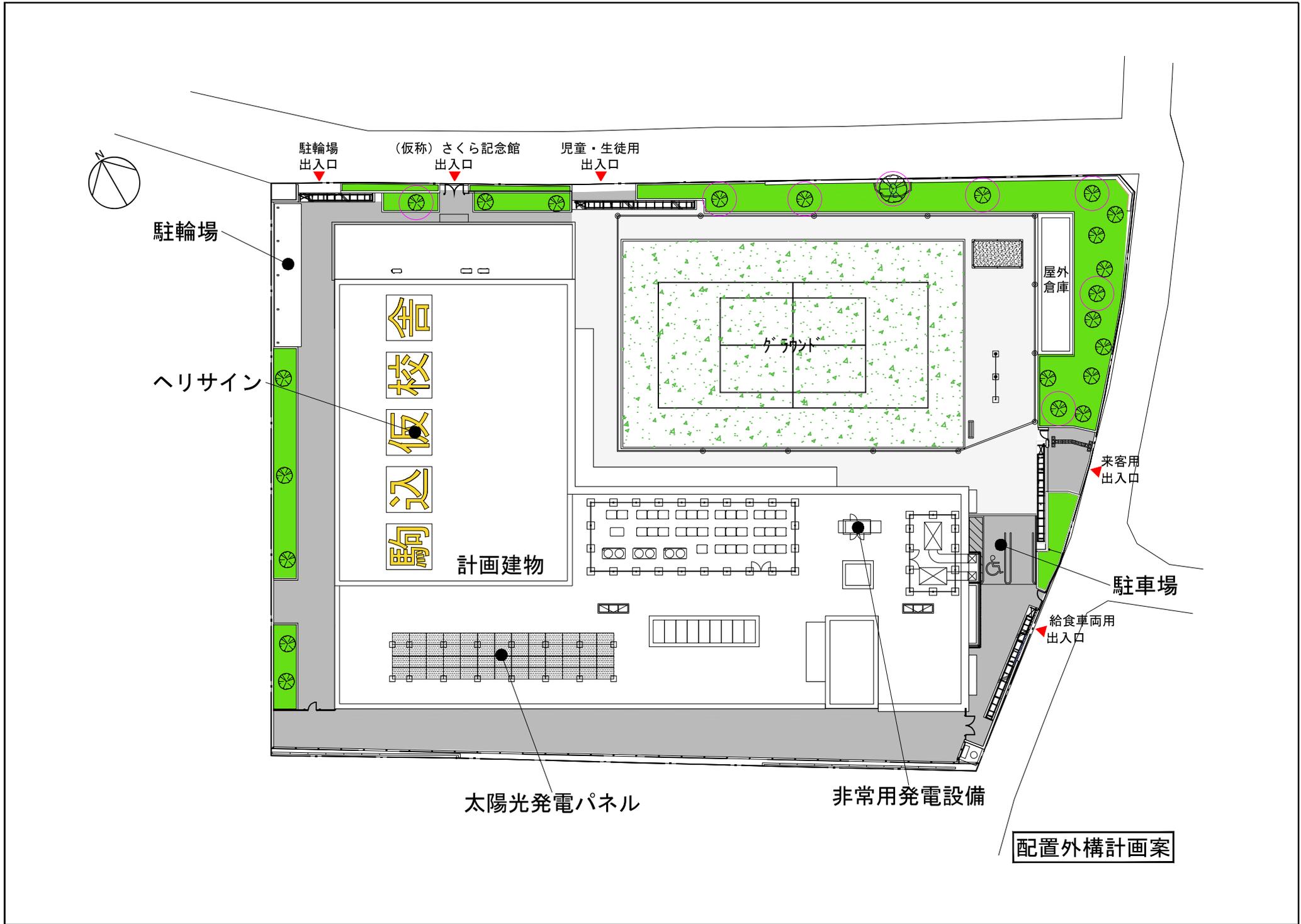
- 限られた敷地を最大限有効活用し、学校施設として必要な諸機能を整備する
- 学校機能を自然な形で視覚的にも表現し、児童・生徒が思い出に残る学校生活を送れるよう、温かみや親しみが感じられるデザインとする
- プールは整備せず、近隣の民間温水プールを利用予定
- 図面案及びパース案は別紙のとおり

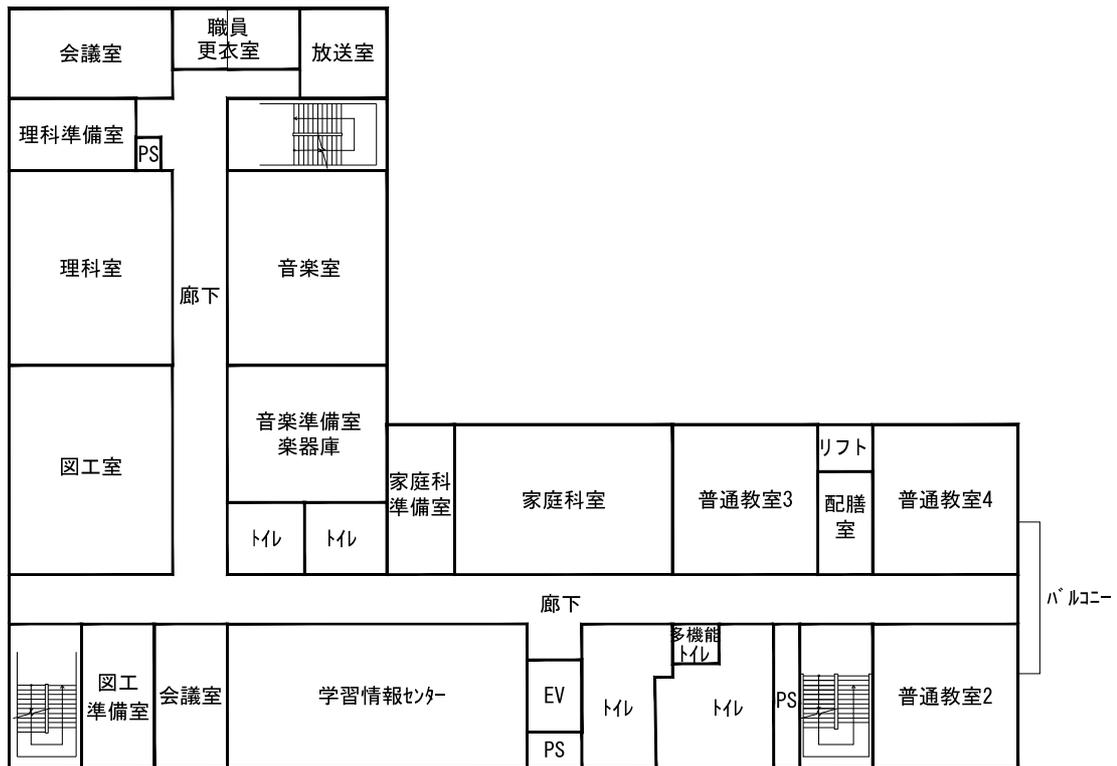
3. 地域説明会について

令和8年2月27日（金）午後6時～ 駒込小学校体育館

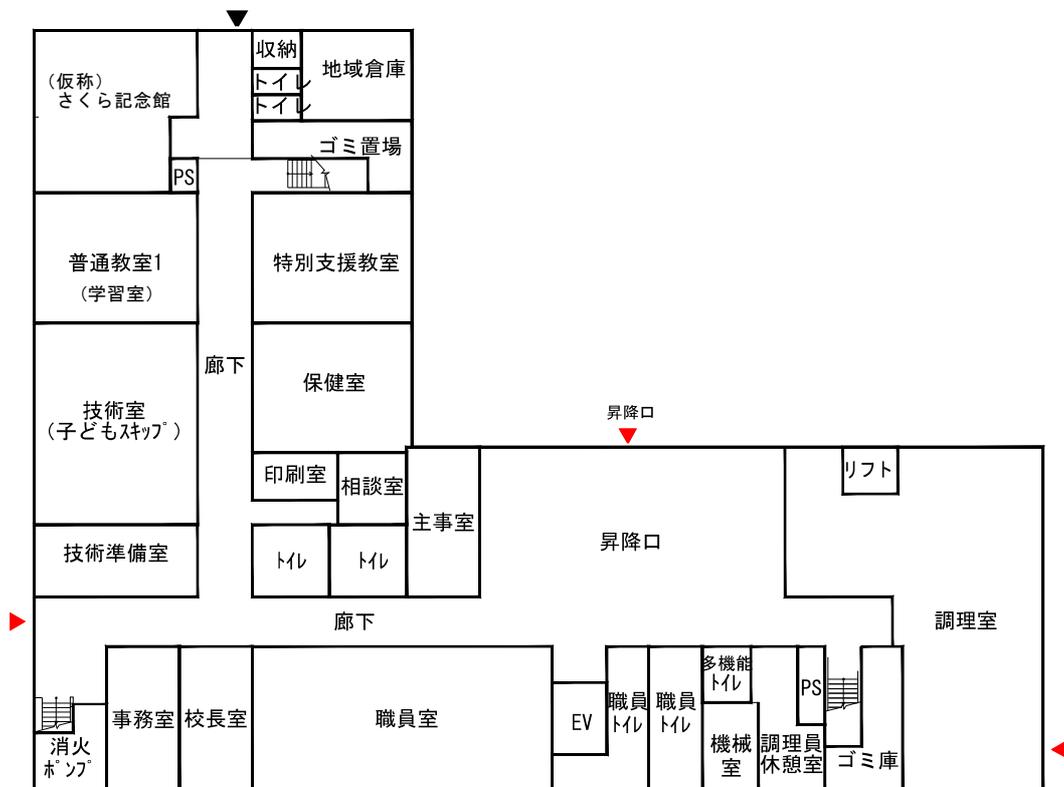
4. 今後の整備スケジュール

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計	R7.8～R8.9			
解体工事	R7.9～R8.8			
文化財調査		R8.5～R8.9（解体工事と併行実施）		
新築工事		R8.10～R11.2		★ 竣工



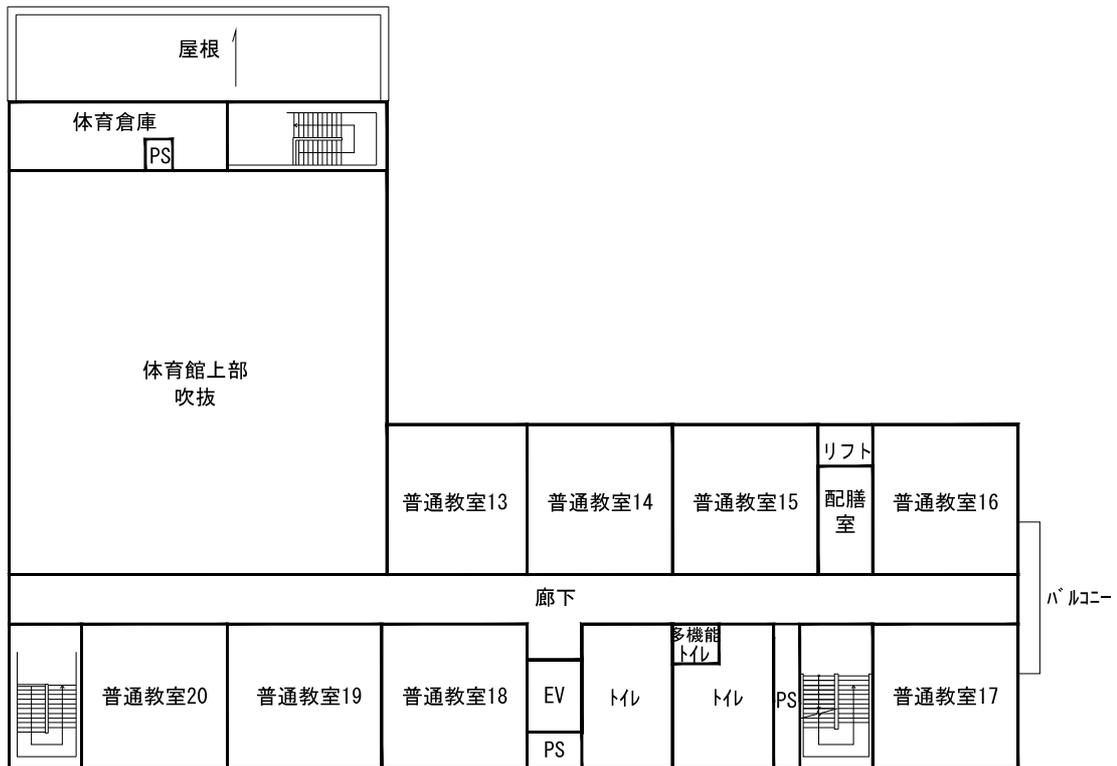


2階平面図案

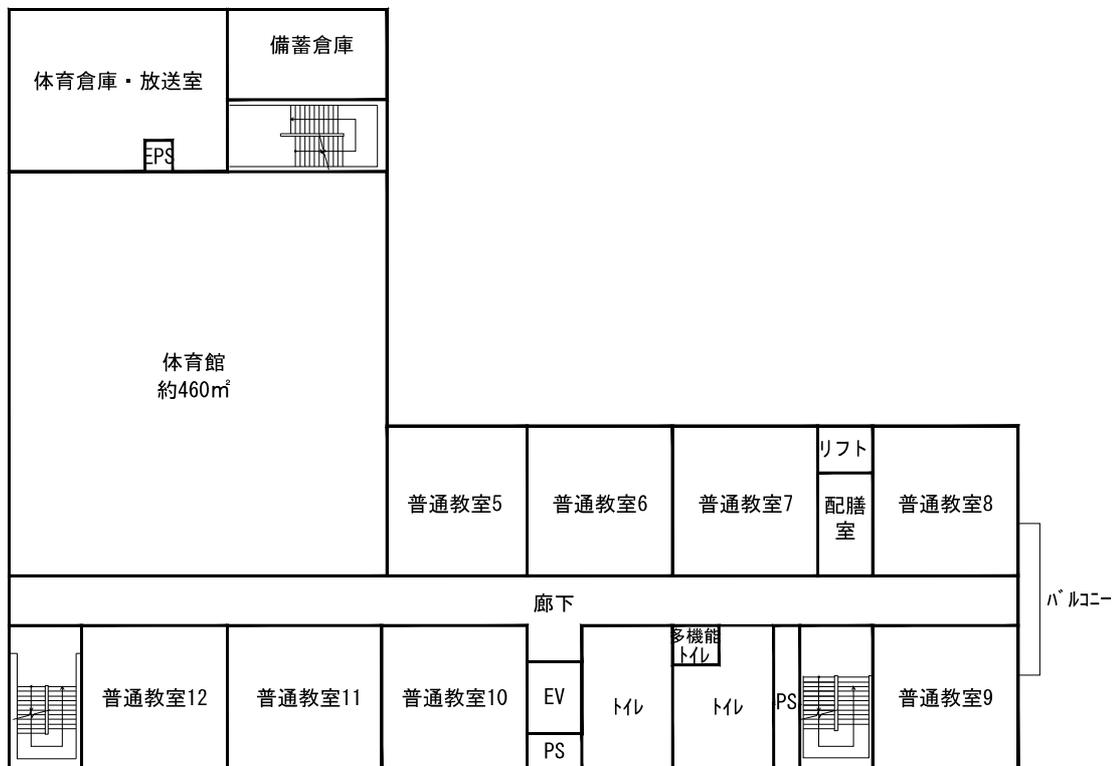


1階平面図案

※鉄骨造
4階建 (高さ: 14.5m)



4階平面図案



3階平面図案

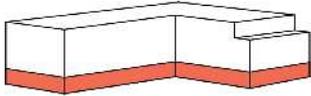
駒込地区仮校舎 外観デザインコンセプト

平面、断面計画による学校機能を自然な形で視覚的にも表現し、温かみや親しみが感じられる仮校舎とすることで思い出に残る学校生活を送れるように

【外観デザイン計画】

CONCEPT①

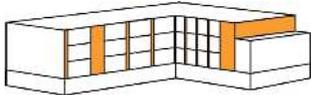
基壇部にアクセント



・職員室や管理機能があり、来客もある1階部分は基壇部として落ち着いた色味で重厚感も感じられるものとします。

CONCEPT②

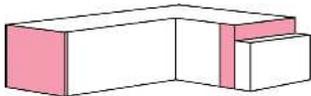
フレーム設置により教室群を強調



・基壇部分から上部において、金属ルーバーによるフレームを設置することで、児童・生徒のメインスペースとなる教室群を分かりやすく表現します。
・フレーム間の壁面は落ち着いた色味の配色及び質感とし、フレームの中に軽やかに各教室が収められているように表現します。
・教室部分の窓は柱から柱までの連窓となるよう配慮することで軽やかさを強調します。

CONCEPT③

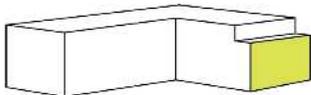
両端部はデザインを統一し、一体感のあるデザイン



・L型の校舎のため両端部は柱部分と同様の色味、テクスチャーの大きな面として見せることでこれらを一体的なまとまりを感じさせるよう配慮します。

CONCEPT④

記念館としての正面性をもったデザイン



・(仮称) さくら記念館の入口がある面は、来館者にわかりやすいよう校舎部分との差別化を図る意匠を施しつつ、建物全体としてまとまりのあるデザインとなるよう配慮します。

CONCEPT⑤

ソメイヨシノを感じられるデザイン

・階段部分にガラスブロックのスリット窓を計画することで階段部分の採光とデザインアクセントを両立させます。ガラスブロックは比較的鮮やかな色味でも違和感なくアクセントになります。桜色のガラスブロックで色味を使いつつ品の印象とします。



色付きガラスブロック (参考)

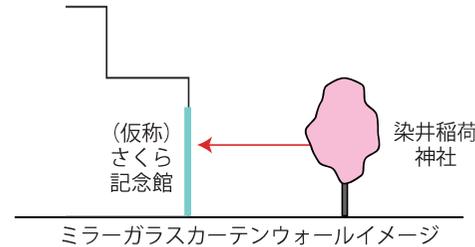
【(仮称) さくら記念館 外観デザインコンセプト】

ソメイヨシノ発祥の地としてこれまでの歴史とこれからの未来が手を取り合う

・(仮称) さくら記念館の一部をミラーガラスのカーテンウォールとします。

ミラーガラスに向かい側の染井稲荷神社の桜と(仮称) さくら記念館前に植えられた桜が重ねて映されることでこれまでの歴史とこれからの未来(継承)を表現し、時間や季節と共に表情を変える(仮称) さくら記念館のシンボルサインとします。

・内部は1階の(仮称) さくら記念館展示室、2階は学校の会議室部分となっており、室内からは外の桜を感じることができます。



ミラーガラスカーテンウォールイメージ



桜開花時のイメージ

❁ 案1

・横連窓により更衣室や倉庫などの採光と軽やかさを両立させます。

・象徴的な壁となるよう金属製ルーバー等でフレーミングし、整った規則性や規律と同時に手仕事のような温もりが感じられるデザインパネルによる象徴壁とします。

・カーテンウォール上部は木目調ルーバーとして温かみがありつつ立体感のあるデザインとします。



案1 アイレベルパース

❁ 案2

・木目調ルーバーにより曲線的な壁面デザインとし、立体感のある印象的な壁面とします。

ルーバー色をランダム配置とすることで豊かで賑やかな表現とします。

・カーテンウォール上部はデザインパネル+テクスチャー塗装として木目調ルーバーとは違った温かみや表情を発信します。



案2 アイレベルパース

案 1



案 2

